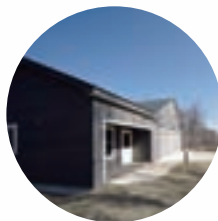


■ BUSINESS REPORT

第108期 株主通信 (2008.4.1 ▶ 2009.3.31)



富士急行株式会社

天空の回転ブランコ

鉄骨番長

本年7月 富士急ハイランドに登場

CONTENTS

ごあいさつ	1
事業別概況（連結）	2
連結財務諸表	4
単独財務諸表	6
Fujikyū Topics (Year In Review)	8
Fujikyū Information	10
株主優待のご案内	12
営業案内図	14
株券電子化のご案内	15
会社概況・株式情報	16



ごあいさつ



株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、当社事業に対し、格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。
心から御礼申し上げます。

当期におけるわが国経済は、世界的な金融危機による経済の混乱の影響に加え、期前半は原油などの原材料価格の高騰、期後半は生産調整・雇用調整などが実体経済の悪化に拍車をかけ、極めて厳しい状況下に推移いたしました。このような状況のなか、当社グループは運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業のグループ力を結集した営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。

運輸事業では、富士急行線において地元自治体や警察との協力による踏切事故防止キャンペーンの実施や踏切遮断機の整備などの安全対策に取り組むとともに、社団法人日本民営鉄道協会との合同事業により、都留文科大学と連携した沿線活性化事業にも着手いたしました。バス事業の高速バスにおいては、平成20年10月に「新松田駅～京都・大阪線」、12月に「静岡東部～横浜・羽田空港線」、また本年2月に「船橋・津田沼～富士五湖／御殿場線」の新規路線を運行開始し、一層の事業拡大に努めました。

レジャー・サービス事業では「富士急ハイランド」において、平成20年7月に日本初となる巻き上げ型ラフティングライドアトラクション「ナガシマスカ」、11月に屋外スケートリンク内に霧と光による演出を用いた日本初の霧噴射型「シンボルツリー」を新設、また、「さがみ湖ピクニックランド」は、平成20年7月に施設名称を「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」に変更するとともに、「パティントン ベア™」をテーマにしたイングリッシュガーデン風のキャンプ場「パティントン ベア™・キャンプグラウンド」を新設し、オリジナリティ溢れた施設の展開

を図りました。

富士本栖湖リゾートで平成20年4月下旬から6月上旬まで開催いたしました「富士芝桜まつり」は、30万人を超えるお客様にご来場いただき、本年も昨年を上回るお客様にご来場いただきました。

この結果、当期の連結売上高は456億48百万円となりましたが、軽油単価の高騰、税制改正に伴う減価償却費増等により経常利益は12億1百万円となりました。

平成21年度も、当社グループを取り巻く事業環境は、景気後退の影響による雇用情勢の悪化や個人消費の低迷、内需の停滞等により引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。

こうした状況の中で、本年、開業80周年を迎えた富士急行線では、JRなどと連携し記念イベントを開催するなど、更なる需要の喚起を図ってまいります。

バス事業では、乗合バスにおける不採算路線の廃止縮小を行いながら、一方で採算路線の増回などの施策により、収益の向上を図ってまいります。

レジャー・サービス事業につきましては、今夏「富士急ハイランド」にタワー型回転ブランコ施設「鉄骨番長」を、また、遊園地「Grinpa」においては、シルバニアビレッジ内にファミリー向け遊戯施設を新たに導入するなど、話題性のある施設の充実と入園者の増加に努めてまいります。

本年1月に、フジヤマリゾートエリアで掘削に成功した温泉につきましては、遊園地・スキー場・ゴルフ場と別荘地を併せ持つ当エリアの相乗効果を図るため、新規施設の建設を計画するなど、エリア価値の向上を目指してまいります。

平成18年6月に成立した金融商品取引法に基づく内部統制制度につきましては、企業会計審議会の公表した「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準並びに財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準の設定について（意見書）」に示されている内部統制の基本的枠組みに準拠して、財務報告に係る内部統制を引き続き整備及び運用してまいります。

当社グループは、今後、中期経営計画の「ポートフォリオマネジメント戦略」、「エリア戦略」を徹底し、更にWEB戦略に基づき各事業の新たな顧客層を開拓するとともに、設備投資の厳選と成長事業への戦略的な設備投資を併せ行いながら、「120%の安全」を最優先し、引き続き一層の「安全管理」に万全を期してまいります。

更には、地域社会への貢献、自然環境への配慮等、企業の社会的責任を果たし、アメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

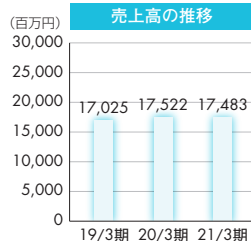
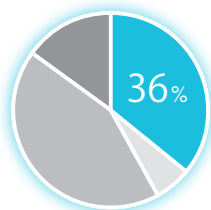
平成21年6月

代表取締役社長

堀内 光一郎

事業別概況（連結）

運輸事業



鉄道事業につきましては、地元自治体や警察との協力による踏切事故防止キャンペーンの実施や踏切遮断機の整備などの安全対策に取り組むとともに、JR東日本及び地元自治体と連携し沿線ハイキング等イベントの開催に併せた首都圏からの直通列車等の増発、また、特急運行10周年キャンペーン、「富士急電車まつり2008」を開催し、需要の喚起と利便性の向上を図りました。更に、社団法人日本民営鉄道協会との合同事業により、都留文科大学と連携した沿線活性化事業にも着手いたしました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、富士急静岡バス株式会社から石川タクシー富士株式会社及び石川タクシー富士宮株式会社へ一部路線を移管し引き続き不採算路線の改善を行うとともに、富士急シティバス株式会社では静岡県裾野市で11月よりコミュニティバス「すその一」を地元自治体と連携を図り運行開始いたしました。また、ICカード乗車券「PASMO」の導入も完了し、お客様の利便性向上を図りました。

高速バス営業につきましては、富士急湘南バス株式会社で10月に「新松田駅～京都・大阪線」、富士急静岡バス株式会社で12月に「静岡東部～横浜・羽田空港線」、富士急平和観光株式会社で平成21年2月に「船橋・津田沼～富士五湖／御殿場線」の新規路線を運行開始し、一層の事業拡大に努めました。

貸切バス営業につきましては、昨年に引き続き富士スピードウェイで「F1日本グランプリ」が開催され、静岡・神奈川・山梨の臨時駐車場から会場までのシャトルバスを運行し、増収に努めました。

ハイヤー・タクシー事業につきましては、静岡地区で地元自治体と連携して、コミュニティバスを運行開始し事業の拡大を図ったほか、タクシー防犯対策として、運転席と後部座席との仕切り板の設置やGPS（衛星測位システム）を活用した緊急対策訓練を実施し、危機管理体制の強化を図りました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は17,483百万円（対前期99.8%）となりました。

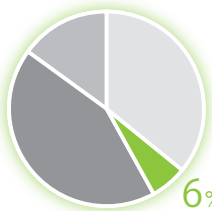


すその一



フジサン特急

不動産事業



実を図り、別荘地の付加価値向上に努めました。

不動産賃貸事業につきましては、用地活用、テナントリーシングを行うなど、安定的な収益の確保に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は2,795百万円（対前期73.9%）となりました。

不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地で引き続き、大人の遊び場をコンセプトに興味・嗜好を追求できる「コンセプト・ヴィラ」シリーズを充実させるとともに、お客様のより多様なニーズに応えるため、新たな価格戦略商品として「コンセプト・コテージ」シリーズ（「ガレージキット山中湖」、「コンパクトログ山中湖」）の販売を開始し、需要の喚起に努めました。

また、より快適な別荘ライフを提供するため、管理・サポートサービスの充



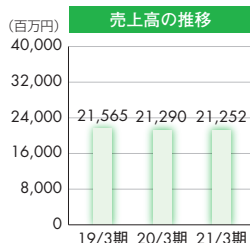
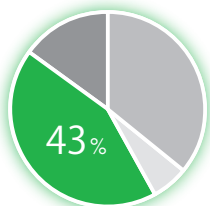
「コンセプト・ヴィラ」シリーズ



コンパクトログ山中湖



レジャー・サービス事業



遊園地事業につきましては、「富士急ハイランド」で、7月に日本初となる巻き上げ型ラフティングライドアトラクション「ナガシマスカ」を、11月に屋外スケートリンク内に霧と光による演出を用いた日本初の霧噴射型「シンボルツリー」を、また平成21年2月に子供向け屋内型遊戯施設「ドラえもんアスレチックプラネット」を新設し、集客に努めました。

富士南麓の遊園地「Grinpa」では、7月に「ウルトラマンタロウレインボーシップ」と、レストラン「M78プラネットダイニング」をオープンし、エリア全体の魅力を更に高めました。

また、さがみ湖ピクニックランドでは、7月に施設名称を「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」に変更するとともに、「バディントン ベア™」をテーマにしたイングリッシュガーデン風のキャンプ場「バディントン ベア™ キャンプグラウンド」を新設し、好評を博しました。

ホテル事業につきましては、4月に「熱海シーサイド・スパ&リゾート」の一部客室の洋室への改装や創作料理処「おとや」の出店を行い、価値向上を図りました。山中湖畔の「ホテルマウント富士」では、夏期に開業45周年の感謝を込めた「アニバーサリープラン」を販売し、特典付のお得なプランとして好評を博しました。

ゴルフ場事業につきましては、「富士ゴルフコース」で、8月に有名店との提携による食のイベントを開催し、サービス向上に努めました。

その他のレジャー・サービス事業につきましては、富士本栖湖リゾートで4月下旬から6月上旬まで、首都圏最大規模の「富士桜まつり」を開催し、30万人を超えるお客様にご来場いただきました。

また、富士急ハイランドエリアの「ふじやま温泉」では富士桜まつりとの連携や、富士登山のお客様の誘致に努め、需要の喚起を図りました。

更に、12月に富士急ハイランドエリアの玄関口「富士急ハイランドバスステーション」に併設して、地元食材を提供するカフェや遊園地のオリジナル商品を揃えた売店をオープンし、増収を図りました。

以上の結果、レジャー・サービス事業全体の営業収益は、21,252百万円（対前期99.8%）となりました。



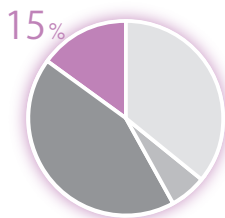
ナガシマスカ



さがみ湖リゾート
プレジャーフォレスト

©Paddington and Company Ltd 2009

その他事業

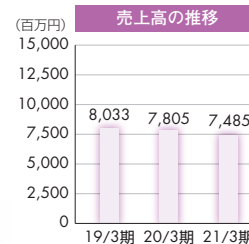


株式会社富士急百貨店では、富士吉田富士急ターミナルビル「Q-STA」で、新店舗を開業するなど施設の魅力拡大に努めました。富士ミネラルウォーター株式会社では、7月に行われた洞爺湖サミットの会議卓上水に採用されました。これで国内開催のサミットにおいて5回連続の採用となり、ブランドの更なる向上が図られました。また、株式会社レゾナント・システムズでは、ドライレコーダー等交通機器の販売を積極的に展開しました。

以上の結果、その他事業の営業収益は7,485百万円（対前期95.9%）となりました。



富士ミネラルウォーター



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	20,259	20,160	流動負債	22,882	29,610
現金及び預金	6,910	5,759	支払手形及び買掛金	2,224	2,594
受取手形及び売掛金	2,098	2,305	短期借入金	16,648	22,842
たな卸資産	9,995	10,991	賞与引当金	475	497
その他	1,254	1,103	その他	3,533	3,676
固定資産	64,444	63,357	固定負債	46,235	37,825
有形固定資産	55,134	53,768	長期借入金	39,218	31,481
建物及び構築物	27,854	28,116	退職給付引当金	1,344	1,452
機械装置及び運搬具	7,808	7,920	その他	5,671	4,891
土地	16,532	15,632	負債合計	69,117	67,436
建設仮勘定	315	495	(純資産の部)		
その他	2,624	1,602	株主資本	15,334	15,472
無形固定資産	3,073	3,054	資本金	9,126	9,126
投資その他の資産	6,236	6,534	資本剰余金	3,407	3,399
投資有価証券	4,457	4,972	利益剰余金	4,284	4,345
その他	1,779	1,561	自己株式	△1,484	△1,398
資産合計	84,703	83,518	評価・換算差額等	△247	97
			その他有価証券評価差額金	△247	97
			少数株主持分	499	511
			純資産合計	15,586	16,081
			負債純資産合計	84,703	83,518

連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業収益		45,648	47,496
営業費		43,145	43,888
営業利益		2,502	3,608
営業外収益		195	284
営業外費用		1,496	1,340
経常利益		1,201	2,552
特別利益		505	513
特別損失		546	845
税金等調整前当期純利益		1,160	2,221
法人税、住民税及び事業税		555	947
法人税等調整額		137	13
少数株主利益		0	44
当期純利益		466	1,215

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,225	4,225
税金等調整前当期純利益		1,160	2,221
減価償却費		4,362	3,905
その他損益等調整額		1,279	983
資産・負債の増減額		△518	△402
小計		6,283	6,707
利息の支払額等		△2,058	△2,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		△3,927	△3,352
有形固定資産の取得による支出		△4,285	△4,038
その他		357	685
財務活動によるキャッシュ・フロー		874	△1,505
借入金の増減額		1,543	△849
その他		△669	△656
現金及び現金同等物の増減額		1,172	△632
現金及び現金同等物の期首残高		5,671	6,304
現金及び現金同等物の期末残高		6,844	5,671

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

単位：百万円

	株主資本					評価・換算差額等 その他 有価証券 評価差額金	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成20年3月31日 残高	9,126	3,399	4,345	△1,398	15,472	97	511	16,081
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△529		△529			△529
当期純利益			466		466			466
連結子会社の減少に伴う増加高			2		2			2
自己株式の取得				△111	△111			△111
自己株式の処分		8		25	34			34
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△345	△11	△357
連結会計年度中の変動額合計		8	△60	△85	△138	△345	△11	△495
平成21年3月31日 残高	9,126	3,407	4,284	△1,484	15,334	△247	499	15,586

単独財務諸表

貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	第108期 (平成21年3月31日現在)	第107期 (平成20年3月31日現在)		第108期 (平成21年3月31日現在)	第107期 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	17,661	17,681	流動負債	17,797	24,473
現金及び預金	5,822	4,538	短期借入金	13,575	19,929
未収運賃	559	511	未払金	1,710	1,738
未収金	694	772	賞与引当金	76	80
たな卸資産	8,757	9,715	その他の流動負債	2,434	2,725
その他の流動資産	1,835	2,158	固定負債	41,762	34,073
貸倒引当金	△6	△14	長期借入金	37,500	29,937
固定資産	57,016	56,751	退職給付引当金	175	197
鉄道事業固定資産	2,860	2,908	預り保証金	3,371	3,490
自動車事業固定資産	4,212	3,181	その他の固定負債	714	447
観光事業固定資産	29,503	29,070	負債合計	59,559	58,547
土地建物事業固定資産	9,963	10,219	(純資産の部)		
各事業関連固定資産	2,105	2,149	株主資本	15,359	15,817
その他の固定資産	383	395	資本金	9,126	9,126
建設仮勘定	221	489	資本剰余金	3,399	3,399
投資その他の資産	7,764	8,336	利益剰余金	3,897	4,246
投資有価証券	4,719	5,128	自己株式	△1,063	△955
長期貸付金	2,383	2,781	評価・換算差額等	△241	68
その他の投資等	721	530	その他有価証券評価差額金	△241	68
貸倒引当金	△60	△103	純資産合計	15,117	15,886
資産合計	74,677	74,433	負債純資産合計	74,677	74,433

損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	第108期	第107期
		(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
鉄道事業			
営業収益		1,300	1,298
営業費		1,278	1,273
営業利益		22	25
自動車事業			
営業収益		3,011	2,994
営業費		2,251	2,234
営業利益		760	760
観光事業			
営業収益		17,388	17,305
営業費		16,995	16,518
営業利益		393	786
土地建物事業			
営業収益		2,092	3,130
営業費		1,626	2,185
営業利益		466	945
全事業営業利益		1,642	2,518

科 目	期 別	第108期	第107期
		(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業外収益		172	174
営業外費用		1,242	1,179
経常利益		572	1,513
特別利益		346	432
特別損失		477	709
税引前当期純利益		441	1,236
法人税、住民税及び事業税		234	592
法人税等調整額		19	32
当期純利益		187	611

株主資本等変動計算書 第108期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

単位：百万円

	株主資本										評価・換算 差額等	純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計			その他 有価証券 評価差額金
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	利益剰余金 合計						
平成20年3月31日 残高	9,126	2,398	1,001	3,399	1,959	219	2,067	4,246	△955	15,817	68	15,886	
事業年度中の変動額													
剰余金の配当							△536	△536		△536		△536	
当期純利益							187	187		187		187	
自己株式の取得									△110	△110		△110	
自己株式の処分			※ △0	※ △0					2	2		2	
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額（純額）											△310	△310	
事業年度中の変動額合計	—	—	※ △0	※ △0	—	—	△349	△349	△107	△457	△310	△768	
平成21年3月31日 残高	9,126	2,398	1,001	3,399	1,959	219	1,717	3,897	△1,063	15,359	△241	15,117	

（注）※は△38千円であります。

Fujikyu Topics (Year In Review)

当期のトピックス紹介

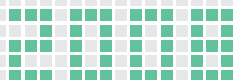


●富士本栖湖リゾートで富士芝桜まつりを開催

雄大な富士を望む富士本栖湖リゾートで、首都圏最大級のシバザクラの庭園「富士芝桜まつり」を初めて開催し、約70万株のシバザクラが咲き揃い、多くのお客様を魅了しました。

●富士急ハイランド・遊園地Grinpalに新規施設が続々オープン

富士急ハイランドに、日本初となる巻き上げ型ラフティングライドアトラクション「ナガシマスカ」、富士南麓の遊園地Grinpalに「ウルトラマンタロウレインボーシップ」がオープンしました。



4

5

6

7

8

9

●さがみ湖リゾート プレジャーフォレストに「パディントン ベア™・キャンプグラウンド」がオープン

さがみ湖ピクニックランドは、7月に施設名称を「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」に変更し、園内にイングリッシュガーデン風のキャンプ場「パディントン ベア™・キャンプグラウンド」をオープンしました。



●富士ミネラルウォーターが「サミット」会議卓上水に採用

昭和4年の創業より愛され続けている富士ミネラルウォーターが「北海道洞爺湖サミット」で首脳会議の卓上水として採用され、国内開催のサミットでは連続5回の採用となりました。



●ホテルマウント富士が 開業45周年

山中湖畔の大出山山頂にあるホテルマウント富士は7月、開業45周年を迎え、ご利用の感謝を込めた特典付のお得な宿泊プラン等を販売し好評を博しました。



●富士急電車まつり2008 を開催

富士急行線について理解を深めていただき、より身近に感じていただく「富士急電車まつり2008」を開催しました。今回は、特急運行10周年を記念した体験型イベント「親子鉄道教室」を開催し、お楽しみいただきました。

●富士急ハイランドスケート リンクにシンボルツリー誕生

富士急ハイランドのスケートリンク「クリスタルラグーンリンク」に日本初となる霧噴射型のシンボルツリーが誕生しました。点灯セレモニーにはトリノ五輪フィギュアスケート金メダリストの荒川静香さんと長野五輪スピードスケート銅メダリストの岡崎朋美選手が出演し会場を盛り上げました。



10

11

12

2004

1

2

3

●F1日本グランプリ が開催

富士スピードウェイ（静岡県小山町）で昨年に続きF1日本グランプリが開催され、会場までのシャトルバス輸送、観戦バスツアーの企画販売などグループを上げて開催をサポートしました。



●富士急ハイランド バスステーションが リニューアルオープン

富士急ハイランドエリアの玄関口となるバスターミナルが「富士急ハイランド バスステーション」としてリニューアルオープンしました。

待合室としての機能に加え、地元食材を提供するカフェや遊園地のオリジナル商品を揃えた売店を設置し、利便性を向上しました。

富士急ハイランドに「鉄骨番長」が誕生

本年夏、富士急ハイランドに新アトラクション「鉄骨番長」が誕生します。このアトラクションは高さ59mのタワーの周りを、最高時速51kmで回転する空中ブランコで、高さ50mを超える大型の回転ブランコは日本初登場になります。

天空の回転ブランコ「鉄骨番長」で新たな絶叫体験をお楽しみください。

鉄骨番長



遊園地Grinpa・シルバニアビレッジに新規遊戯施設が誕生

本年夏、オープン5周年を迎える遊園地Grinpaにあるシルバニアビレッジに、ファミリー向けの新規遊戯施設「お空のかんらんしゃ」「そよかぜサイクリング」が誕生します。また、新たにオリジナルキャラクター「そよかぜネコファミリー」が登場しシルバニアビレッジを盛り上げます。

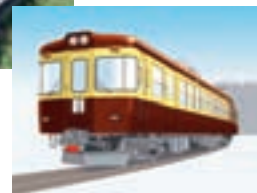


©2009 EPOCH CO., LTD

富士急行線が開業80周年

富士急行線の前身である富士山麓電気鉄道が、1929年（昭和4年）6月19日に大月～富士吉田間の営業を開始してから、80周年を迎えました。

開業80周年を記念した懐かしの塗装車両の運行など、各種イベントが企画、実施されています。



フジヤマリゾートエリア内で温泉の掘削に成功

本年1月、静岡県の富士山南麓2合目で展開しているフジヤマリゾートエリア（遊園地Grinpa・スノータウンYeti、ゴルフパークBandi、十里木高原別荘地）において温泉の掘削に成功いたしました。

掘削地点は富士山中腹の標高約1,400mに位置し、富士山エリアでは最も標高の高い温泉となります。（当社調べ）

今後は当エリアの価値向上に向けた新規施設を計画するなど、各施設との相乗効果を図ってまいります。



株主優待のご案内

電車・バス・観光施設共通優待券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
1,000株以上	電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車) バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車) 富士急ハイランド (1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換)	7枚
3,000株以上	ぐりんぱ (1枚につき1名入園、5枚につきワンデーカーボン1枚と引換) さかみ湖リゾートプレジャーフォレスト (1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換) スノータウンYeti (5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)	10枚
5,000株以上	あだたら高原スキー場 (5枚につきリフト1日券又は Gondola 往復券1枚と引換) 初島アイランドリゾート (1枚につき1名入園) 天上山公園カチカチ山ロープウェイ (1枚につき1名乗車 (往復))	15枚
10,000株以上	河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船) 初島航路 (1枚につき1名乗船 (片道)) フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館)	25枚
20,000株以上	ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館) 富士芝桜まつり (富士本栖湖リゾート) (1枚につき1名入園) ※開催期間をご確認ください。	40枚

フリーバス引換券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
1,000株以上		1枚
3,000株以上		2枚
5,000株以上	遊園地フリーバス (富士急ハイランド・ぐりんぱ・さかみ湖リゾートプレジャーフォレスト)	3枚
10,000株以上	スキー場1日券 (スノータウンYeti・あだたら高原スキー場)	4枚
20,000株以上		5枚
35,000株以上		6枚

施設割引券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数	
1,000株以上	ハイランドリゾートホテル&スパ	1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引	2枚
	ホテルマウント富士		2枚
	ホテルマウント富士 プール割引券		20%割引 (1枚につき4名まで)
	あだたら高原富士急ホテル	3ホテル共通 1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引	2枚
	富士宮富士急ホテル		
	甲府イーストサイドホテル		
	富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー、食事付入浴10%割引 (1枚につき4名まで)	5枚
	富士ゴルフコース	バック料金から2,000円割引 (1枚につき4名まで)	1枚
	ゴルフパークBandi	バック料金から1,000円割引 土・日・祝日2,000円割引 (1枚につき4名まで)	1枚
	大富士ゴルフ場	バック料金から2,000円割引 (1枚につき4名まで)	1枚
	ふじやま温泉	入館料 平日 大人750円 小人400円 土休日 大人1,000円 小人500円 (1枚につき4名まで)	2枚
	PICA山中湖ヴィレッジ	コテージ1棟 (素泊り) 10%割引 レストラン「FUJIYAMA KITCHEN」5%割引	2枚
	PICA富士吉田・PICA富士西湖・キャンピカ富士ぐりんぱ	1枚につき1泊1室10%割引	2枚
	富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引 (1ケース以上)	1枚
	富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引 (1枚につき4名まで)	2枚
富士急ハイランドボウリング場	1ゲーム350円 (1枚につき4名まで)	2枚	
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引	1枚	

高速バス乗車券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
5,000株以上	高速バス乗車券	1枚
10,000株以上		2枚
20,000株以上		4枚

注) 高速バス乗車券は、中央高速バス富士五湖線・富士山五合目線・甲府線及び東名高速バス東京駅～河口湖線の当社便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線優待バス

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
35,000株以上	電車・バス全線優待バス（表示された持参人1名）	1枚

長期保有特別優待券（3年継続保有毎）

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
10,000株以上	「ハイランドリゾートホテル&スパ」「ホテルマウント富士」の指定するツインルーム室料100%またはホテル内レストラン利用料30%割引券	2枚
35,000株以上		3枚

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に対してそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について

・長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日（3月31日、9月30日）の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ**3年経過ごと**に発行しております。**（3年に1度の発行となります。）**

相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。

・長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、旧盆（8月）等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。
その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。

営業案内図



【バス・鉄道】

- バス …………… (0555) 22-7100
- 高速バス予約センター
(富士五湖線) …………… (0555) 72-5111
(甲府線) …………… (055) 237-0135
(東京駅～河口湖線) … (0555) 72-2922
- 鉄道 …………… (0555) 22-7106

【遊園地・スキー場】

- 富士急ハイランド …… (0555) 23-2111
- 遊園地ぐりんぱ …… (055) 998-1111
- さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト … (042) 685-1111
- スノータウンYeti …… (055) 998-0636
- あだたら高原スキー場 … (0243) 24-2141
- 初島アイランドリゾート … (0557) 67-2151

【ホテル】

- ハイランドリゾート ホテル&スパ … (0555) 22-1000
- ホテルマウント富士 …… (0555) 62-2111
- 富士宮富士急ホテル … (0544) 23-6666

【ゴルフ場】

- 富士ゴルフコース …… (0555) 62-1227
- ゴルフパークBandi …… (055) 998-1122
- 大富士ゴルフ場 …… (0545) 21-4111

【別荘地】

- 山中湖半別荘地セールスオフィス … (0555) 62-0043
- 十里木高原別荘地管理センター … (055) 998-1212

株券電子化のご案内

株券電子化に伴う「特別口座」の開設について

株式の管理や取引を効率的かつ安全に行うことを目的として、平成21年1月5日に株券の電子化が実施されました。これにより、上場会社の株券は一斉に電子化され、株券が無効になりました。

株券電子化に伴い証券保管振替機構（ほふり）に預託されていなかった株式につきましては、「特別口座」で株式を管理しますので、今後のご対応につきましてご案内いたします。

■証券保管振替機構（ほふり）に株券を預託していなかった場合

- ・お手持ちの株券は無効となっております。
- ・株主名簿（株券の名義）に登録されている名義で開設する「特別口座」で、株式を管理しますので、株主としての権利は、従来どおりで変更ありません。
- ・「特別口座」は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行に開設し、平成21年1月26日付けで、株式残高が記録されました。
- ・「特別口座」を開設した株主様へは、登録されている住所に口座開設のご案内を平成21年2月に発送いたしました。
- ・「特別口座」では、株式の売買ができませんので、お取引証券会社等のご本人様名義の口座へ振替請求を行ってください。
- ・振替請求のお手続きにつきましては、17ページの株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先までお問い合わせください。

■単元未満株式をお持ちの場合

- ・単元未満株式（1,000株未満）につきましては、市場で売買することができません。また、株主総会での議決権もありません。
- ・特別口座に登録された単元未満株式につきましても、当社への買取請求または買増請求を行うことができますので詳しくは下記の「単元未満株式の買取請求・買増請求について」をご確認ください。

単元未満株式の買取請求・買増請求について

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。

お手持ちの単元未満株式を弊社が買い取るか（買取請求）、もしくは1単元である1,000株とするために、弊社から単元未満株式を買い増す（買増請求）ことができます。

【お手続きについて】

■証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社にお問合せください。

ただし、株券電子化以前に株券が発行されていない単元未満株式（証券会社の口座に登録されているものを除きます）をお持ちであった場合には、株券電子化実施日時点で、単元未満株式は「特別口座」に登録されておりますので、17ページの株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

■証券会社に口座を開設されていない株主様

単元未満株式は「特別口座」にて記録されておりますので、17ページの株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

会社概況

会社概要 (平成21年3月31日現在)

- 商 号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所 在 地 本 社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設 立 大正15 (1926) 年9月18日
- 資 本 金 91億2,634万円
- 代 表 者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主 要 事 業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役 員 (平成21年3月31日現在)

取 締 役 会 長 (代表取締役)	堀 内 光 雄	取 締 役	尾 崎 護
取 締 役 社 長 (代表取締役)	堀 内 光一郎	取 締 役	小 泉 孝 範
専 務 取 締 役	帆 足 雅 晴	取 締 役	小 林 正 幸 久
専 務 取 締 役	澤 辺 正 恭 夫	取 締 役	新 井 田 一 成
専 務 取 締 役	堀 内 哲 夫	取 締 役	和 勝 侯 野 收
常 務 取 締 役	福 重 隆 一	取 締 役	矢 野 勝 守
取 締 役	林 有 厚	常 勤 監 査 役	水 田 清 勝
取 締 役	宇 野 郁 夫	常 勤 監 査 役	堀 田 水 力
取 締 役	秋 山 智 史	監 査 役	吉 岡 吉 一
取 締 役	藤 田 讓	監 査 役	岡 本 信 和

連結子会社の状況 (平成21年3月31日現在)

[運輸部門]

- 岳南鉄道(株)
- 富士急行観光(株)
- 富士急平和観光(株)
- 富士急山梨バス(株)
- 富士急シティバス(株)
- 富士急静岡バス(株)
- (株)フジエクスプレス
- 富士急湘南バス(株)

- 富士急オートサービス(株)
- (株)静岡ホールディング
- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリンリゾート

[レジャー・サービス部門]

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート

- 相模湖リゾート(株)
- (株)富士宮富士急ホテル
- ハイランドリゾート(株)
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 表富士グリーン観光(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)ピカ

[不動産部門]

- (株)富士急リゾートアメニティ
- 他1社

[その他部門]

- (株)富士急百貨店
 - 富士急建設(株)
 - (株)レゾナント・システムズ
 - 富士ミネラルウォーター(株)
- 他4社

他1社

株式情報

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数	331,695,000 株
発行済株式の総数	109,769,477 株
株 主 数	5,984 名

大 株 主 (平成21年3月31日現在)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
財団法人堀内浩庵会	12,912	11.76
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.58
日本生命保険相互会社	10,661	9.71
富国生命保険相互会社	10,652	9.70
朝日生命保険相互会社	7,650	6.97
株式会社東京ドーム	3,052	2.78
富士急行株式会社	2,671	2.43
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,555	2.33
日野自動車株式会社	2,506	2.28
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.25

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号

東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyu.co.jp/>



本誌は再生紙を使用しています。